



## <イタリアワインの発展とエノテカ・バル文化>

イタリアのバルにはさまざまなタイプがあり、なかでもワインショップに併設されているものをイタリア語でエノテカ・バル (enoteca bar) とする。ワインをボトルで購入するのみならず、その場でグラスでワインを楽しむ。たいがい立ち飲みで、その立ち飲みスペースをバンコ (banco) と呼ぶ。銀行のバンコの語源のバンコはカウンター、机、ベンチと幅広い意味を持つ。

エミーリア・ロマーニャの州都ボローニャで最も古い部類に入る、オステリア・デ・ポエティ (Osteria De' Poeti) (「詩人たちの居酒屋」の意) では酒屋のバンコの原型を見ることができる。電気や冷蔵庫のない時代、ワインの温度管理のため、このオステリアの場合は入り口から真っすぐ伸びた階段を下りる。まるで別の世界にワープするかのよう。夏のボローニャは 30 度を越えることもざらだが、地下は四季を通じて約 12 度から 15 度程度に保たれ温度変化も小さい。いまでもワインの保管やサービスに大いに活用されている。地下にはヴォールト天井の美しい大広間が 3 つある。そのひとつには農家風の白い大きな暖炉があり約 400 年前のものだという。店主に昔の写真を見せてもらう。地元の“のんべえ”たちが勝手にワインを注がないよう、まるで檻のように頑丈な黒い木格子がバンコと一体化している。檻の向こうの係が大樽からピッチャーにワインを注ぐ。かつてイタリアのワインはこのよう

な量り売りが主だった。人びとは檻つきバンコに群がり、持参した容器にワインを詰め家へ持ち帰った。やがてその場で飲む者も現れオステリアは“居酒屋”と同義となり、ワインの量り売りの習慣はいつしか廃れた。しかしいまだ地方の古い酒屋や、ワイナリーの直売所には、まだ量り売りの文化がころうじて残っている。



黒い木格子と一体化したバンコ

今日のイタリアワインの世界的な隆盛を觀れば、ブドウ農家がワインを生産し、ボトル詰めしラベルを貼り、自分たちの家族のストーリーの詰まった“ブランド”として宣伝して売ることとはさも当たり前前にも思つかもしい。しかし一部の貴族やピエモンテ州のバローロ (Barolo) やトスカーナ州のキャンティ (Chianti) などの古い銘醸地を除き (そういうワインは王侯貴族しか手が届かなかった) イタリアのワイナリーの大部分は第二次世界大戦後、本格的には 1960 年代以降に急速に成長した。それ以前は、農家はもっぱら自家製のワインを飲み、親戚や知り合いにも分けていた。都市の住民は前述のオステリアやエノテカといった酒屋が農家から仕入れたワインを容器をぶら下げて買いにいった。筆者のソムリエ修行先のボローニャのマルサラ通り (Via

Marsala) にあるエノテカ・イタリアーナ (Enoteca Italiana) という店は、当時イタリアで増えはじめた新しいワイナリーからボトルワインを仕入れて、20 州すべてを網羅しようという意欲を持った若者たちが集まり 1972 年に開業した。流通が今でも発達しきれていないイタリアでは画期的な試みだった。



バルから始まるイタリア人の朝

この店のバルに話を戻そう。朝は目覚めのエスプレッソを求めて立ち寄る出勤前の客。12 時から 15 時にかけてランチのパニーノを求める背広姿、近所の商店主でござったがえす。パニーノはボローニャのモルタデッラ (mortadella)、パルマの生ハム (prosciutto di Parma)、サラメ (salame) の中から選ぶとその場でスライスしてパンにはさんでくれる。それをグラスワイン (スーパーキングや白、赤を合計 30 種類ほどから選べる) で胃に流し込み、ほろ酔い気分を再び熱いエスプレッソでしゃっきりリセットしてからまた職場に戻っていく。こんな調子だから平日の昼間からワインを飲んでも引け目を感じない。そこが日本と大きく違う。イタリアのワインは食事をおいしくするために欠かせないものだからだ。17 時を過ぎると今度はアペリティーヴォ (aperitivo) の時間。地元ボローニャ大の学生も多い。パルミジャーノ (parmigiano) やハム・サラミ類をつまみながら、好きなワインをグラスで楽しむ。時間をつぶしながら喉を潤し、小腹を満たし、おしゃべりをしながら友人や家族と待ち合わせる。やっと 20 時を過ぎて開くトラットリアやリストランテに連れだって消えていく。こうしてイタリアのバルは人びとの生活に密着し、彼らの人生の一部となって、きょうもあすもそこに存在する。

櫻井美紗子 日伊協会理事  
イタリアワイン文化講座担当



## <伊検 1 級と全国通訳案内士ダブル合格まで>

まさか 1 本のイタリア映画を観たことでイタリア語とこんなに長い付き合いになるとは思ってもいませんでした。ジュゼッペ・トルナトーレ監督の『ニュー・シネマ・パラダイス (Nuovo Cinema Paradiso)』をビデオで観たのは 1999 年、今から 21 年前の 25 歳の時。ストーリー、音楽、とにかく全てに感動し、そしてイタリア語の響きがとても心地よくイタリア語が勉強してみたくなりました。まず NHK のイタリア語講座で勉強開始、そのうち週 1 回のイタリア語教室に通うようになり、イタリア語の勉強に夢中になりました。そして 2002 年、クラスの友人とイタリア旅行へ。バルやリストランテで自分のイタリア語が通じることがとても嬉しく、何より現地の人達の優しさに感動しすっかりイタリアが大好きになりました。その後、仕事の忙しさでレッスンをやめ数年経ちましたが、やはりもう一度勉強がしたいと 2009 年に思い切ってフィレンツェに留学しました。初めは 1 か月間の短期留学でしたが、あまりにも楽しく、帰国してすぐにピザを取りイタリアに戻りました。留学中は辞書を片手に大家さんやイタリア人の友人達と毎日いっぱいお喋りをし、以前より格段に会話ができるようになっていきました。半年後、後ろ髪を引かれる思いで日本に帰国しましたが、イタリアに戻りたいと悶々とした日々を過ごしていました。



フィレンツェでの初めてのサッカー観戦

そうした頃、友人の紹介で簡単な通訳を引き受けるようになり、日本にいながらイタリアを感じられることが嬉しく、やはりイタリアに関わった仕事をしたいと思い始めました。友人がフランス語の通訳案内士をしていたので資格について知り、私も挑戦することにしました。イタリア語を含め 4 教科 (現在は 5 教科) を勉強するというのは大変でしたが 2 年目の 2014 年に一次試験に合格することが出来ました。しかし二次の口述試験で不合格……。翌年は受験できずに 2016 年度は一次不合格、2017 年には 2 度目となる二次試験へ。その間に 2 度の短期留学、また長期で生活をする機会もあったので今度こそは大丈夫、と思っていたのに緊張のあまり簡単な単語すら出ずに頭が真っ白になり黙り込んでしまい不合格でした。

この年には実用イタリア語検定も受験しました。2005 年に力試しで受けた 3 級に合格してからは一度も受験していませんでしたが、英語以外の他言語も検定 1 級取得で通訳案内士の語学試験免除となってきたので、今後の為にもと無謀にも 2 級を飛ばしての 1 級受験でした。検定の過去問題集で勉強しましたが結果は一次不合格。イタリア語検定不合格はもちろん、通訳案内士の二

次試験に再び落ちたことが本当に情けなく、語学学校の会話クラスを受講することにしました。また、作文レッスンがあることを知りそちらも受講することに。作文レッスンでは出されたお題に沿って自宅で作文し、翌週のレッスンで先生と一緒に作文を読みながら添削をしてもらおうというものでした。毎回、難しいお題に四苦八苦し、やっと書き上げた作文も次のレッスンでは先生から厳しくダメ出しされ作文用紙は修正で赤字だらけに。でも、そのお陰で新しい単語や表現をどんどんと身に付けることができ、イタリア語での作文の書き方というのも少しずつ分かるようになっていきました。



Sagra della bistecca (ステーキのお祭り)

文法は中・上級対応の文法書を使い復習しました。翌 2018 年に試験に再チャレンジ。イタリア語検定は 2 級も併願で受け、結果は 1 級・2 級共に合格、一次では驚いたことに 1 級、2 級共に作文が満点の 20 点でした！そして通訳案内士試験もやっと合格！この時の二次試験では不思議といつものほど緊張もせずにすらすらと言葉が出てきました。これまで極度に緊張していたのはやはり準備・力不足で自信がなかったからだと思います。二次試験の逐次通訳ではどんなお題でも訳せるようにと、ニュースを観ながらアナウンサーの日本語をメモしイタリア語に訳すということをして続けていたので焦らずに訳すことが出来ました。

試験の為に真剣に勉強した 1 年間はもちろんですが、やはり 20 年の間に沢山のイタリア映画を観て、イタリア語の書物を読んで少しずつ語彙を増やしてきたことも 2 つの試験の合格に繋がったと思います。資格取得後はガイドとして活動することができ更にお仕事の幅も広がりました。何より、試験のお陰で真剣にイタリア語を勉強することができ、その勉強が仕事の中で今とても生かされています。

今は少人数から大人数のグループまで様々なお客様をご案内させて頂いていますが、まだまだ駆け出し勉強中。思うようなガイディングや通訳が出来なくて落ち込むこともありますがお客様に喜んで頂けるとまた頑張ろうという気持ちが湧いてきます。Chi va piano, va sano e va lontano. 「ゆっくり行く人は安全に遠くまで行く」、イタリア語を習い始めた頃に知った好きな諺の一つです。今この場所に来るまで長い時間がかかりましたが、これからも自分のペースでゆっくり楽しみながらイタリア語と付き合っていこうと思います。

## <単語の使い分け方を知って検定問題に挑戦！>

(今回の検定対策は、1月に発売された『イタリア語 基本単語 使い分けブック(ペレ出版)』(アンナ・エスポジト/武田 明子著)の共著者、武田先生に執筆していただきました)

実用イタリア語検定の問題を解くには、単語の意味を覚えているだけでは十分ではありません。使い方や使い分けをしっかりと理解しておくことが大事です！まずは準2級の、この問題を一緒に考えましょう。

### 2019年秋季第49回 準2級\*1

N24 Per la prenotazione \_\_\_\_\_ del numero della sua carta di credito.

- a) bisogno      b) bisogna  
c) bisogniamo    d) abbiamo bisogno

「～をすることが必要だ」を意味する言い回しはいくつかあります。動詞 *bisognare* や名詞 *bisogno* が思いつくとありますが、具体的な使い方がしっかり頭に入っていないとこの問題は解けません！

ポイント1：動詞 *bisognare* は、ほぼ、非人称構文の「bisogna + 不定詞または節」の形でしか使われません！  
ポイント2：名詞 *bisogno* は「avere bisogno di + 名詞または不定詞」という形で「人が～を必要とする、～する必要がある」という意味で使われます。この2つのポイントに照らし合わせて、実際に問題を解きましょう。

Per la prenotazione は「予約のために」、del numero della sua carta di credito は「クレジットカードの番号(の)」のような意味になります。この文には動詞はありません。つまり、空欄には動詞的な役割をする語句を入れる必要があることが分かります。

選択肢 a) *bisogno* を入れてみましょう。

Per la prenotazione a) *bisogno* del numero della sua carta di credito.

これだけでは動詞 *bisognare* の1人称単数形になってしまうので、ポイント1「動詞 *bisognare* は、ほぼ *bisogna* の形でしか使わない」に一致しないため、誤りです。

次の b) *bisogna* はその点はクリアしているのでよさそうですが……。

Per la prenotazione b) *bisogna* del numero della sua carta di credito.

*bisogna* の後が del numero となっているので、「bisogna + 不定詞または節」の形に当てはまりません。これも間違いです。*bisogna* を使う場合、Per la prenotazione *bisogna* comunicare il numero della carta di credito. とすると正しい文になります。

次は c) *bisogniamo* です。

Per la prenotazione c) *bisogniamo* del numero della sua carta di credito.

選択肢 a) *bisogno* と同じく、これだけだと動詞 *bisognare* の1人称複数形になってしまうので、ポイント1「動詞 *bisognare* は、ほぼ *bisogna* の形でしか使わない」に一致しません。これも不正解です。

d) *abbiamo bisogno* はどうでしょうか？

Per la prenotazione d) *abbiamo bisogno* del numero della sua carta di credito.

これはポイント2の「avere bisogno di～」を1人称複数で活用させたものなので、問題ありません。

したがって、正解は d) *abbiamo bisogno* となります。

次に、まぎらわしい接続詞の問題です。

### 2018年秋季第47回 3級\*2

N35 \_\_\_\_\_ nevicata molto, in montagna le strade sono bloccate.

- a) Perché    b) Poiché    c) Perciò    d) Per cui

理由を表す接続詞を入れる問題です。前半は「雪がたくさん降る」、後半は「山では道がふさがれている」。因果関係は「雪がたくさん降る→だから→山では道がふさがれている」となります。

選択肢を確認しましょう。a) *Perché* も b) *Poiché* も「～だから」という理由を表す接続詞ですね。でも、文中での位置が異なります。*perché* は A *perché* B →「Bなので A」のように、理由を表す節が後に来る場合に使います。それに対して *poiché* は、*poiché* A, B →「Aなので B」のように、理由を表す従属節が前に来る場合に使います。

a) *Perché* nevicata molto, in montagna le strade sono bloccate.

*perché* は理由を表す節が後に来る場合に使うので、この位置には来るのは間違いです。

*perché* を使う場合、この形なら OK です。

In montagna le strade sono bloccate *perché* nevicata molto.

b) *Poiché* nevicata molto, in montagna le strade sono bloccate.

こちらの位置は正しいですね。「雪がたくさん降るから、山では道がふさがれている」と意味が通り、正解となります。

他の選択肢も念のため確認しましょう。c) *Perciò* は、文の前半の内容から導き出されることを後半に続けるときに使います。A *perciò* B. は「Aだから B」です。

c) *Perciò* nevicata molto, in montagna le strade sono bloccate.

となりますが、この位置に入れるのは誤りです。

正しい文にするには *Nevicata molto, perciò in montagna le strade sono bloccate.* としなくてはなりません。

最後に、d) *Per cui* は「そのため」という意味の接続の働きをする句で、関係代名詞です。*cui* は前に言ったことを表し、「その(前のこと)のために」という意味になります。A → *per cui* → B は「A, それゆえに B」「Aだから B」となります。問題文に入れてみると、

d) *Per cui* nevicata molto, in montagna le strade sono bloccate.

文中での位置が間違いです。*per cui* を使った正しい文は *Nevicata molto, per cui in montagna le strade sono bloccate.* となります。

というわけで、答えは b) *Poiché* でした。

これらの接続詞は違うパターンで登場する場合があります。準2級以上でも出題されるので要チェックです！

監修：Anna Esposito、解説：武田 明子

\*1は『イタリア語 基本単語 使い分けブック』の【動詞 20「必要」だからまとめて覚えよう!】、\*2は【形容詞・副詞・接続詞 11 違いを知って使いこなしたい接続詞たち】に詳しい解説が出ています。こちらも活用し、検定試験対策にお役立てください。

## 検定ニュース

### 2020年春季 第50回実用イタリア語検定 申込者数

	準2級	3級	4級	5級	合計
札幌	3	5	10	9	27
仙台	2	9	14	11	36
新潟	2	1	2	9	14
東京	135	217	244	166	762
横浜	21	39	46	32	138
金沢	2	3	6	6	17
名古屋	11	28	35	22	96
京都	19	31	63	21	134
大阪	38	54	83	58	233
岡山	0	4	8	11	23
広島	0	5	6	3	14
福岡	14	21	26	34	95
宮崎	0	2	2	2	6
那覇	0	4	0	1	5
Roma	4	10	1	3	18
Milano	13	15	16	8	52
合計	264	448	562	396	1670

▶3月1日に予定していた第50回検定は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として2月26日に発表された安倍総理大臣の「向こう2週間はイベントの延期・中止を要請する」との方針を受け、急遽中止いたしました。

受験者の皆様の安全を優先に考えての中止であったとは言え、この試験を目標に日々学習に励んでこられた皆様には誠に残念な決断となり、事務局としても胸が痛みます。

また、試験実施に要する準備費用の大半が既に消化されていたため受験料の返金が不可能であり、次回、2020年秋季第51回への繰り越しとさせていただきます。ご納得いただけなかった方々も数多くいらっしゃいましたが、常時財政難を抱えながらの運営となっている協会の窮状をご賢察いただき、どうかご理解下さいますよう、お願いいたします。

▶今夏に発売予定でした2020年版過去問題集は、第50回検定試験が、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、出版を見送らせていただきます。なお、2019年以前に発売した過去問題集は、大手書店やアマゾンなどでお買い求めになれます。



今さらながらですが、Twitterをはじめました。事務局のつぶやき、嘆き、ぼやきなどの生の声だけでなく、お知らせやイタリア発の旬の話題、過去に出題された問題をランダムに配信していますので、よろしければフォローお願いいたします。@ufficioiken

### ~Twitterのイタリア語~

twittare つぶやく、ツイートする  
 ritwittare リツイートする  
 Che c'è di nuovo? いまどうしてる?  
 mettere "Mi piace" "いいね"する  
 condividere Tweet ツイートを共有する  
 inviare tramite Messaggio Diretto ダイレクトメッセージを送る  
 salvare Tweet nei segnalibri ブックマークに追加する  
 copiare link del Tweet ツイートのリンクをコピーする  
 Tweet e risposte ツイートと返信  
 contenuti メディア  
 profilo プロフィール  
 notifiche 通知

過去の問題を  
 解答・訳・解説  
 と一緒につぶ  
 やいてるよ!



イタリア語検定協会 公式 @ufficio... -23h  
 ◀イクエン君の検定対策(第11回)【4級】▶  
 Ho vissuto in Francia \_\_\_\_ più di dieci anni.  
 a) fa b) fra c) da d) per  
 今日は前置詞の問題。più di を括弧に入れて考  
 えると分かり易いよ!

イタリア語検定協会 公式 @ufficio... -23h  
 【解答】d 【訳】私は10年以上の間フランス  
 で暮らしました。【解説】a) の fa (今か  
 ら) .....前"は過去の一時点を示しますが、時  
 間の長さの表現の後ろに置かれる語なので、  
 ここでは不適切です。

イタリア語検定協会 公式 @ufficio... -23h  
 また、b) の fra (今から) .....後に"は未来  
 の一時点を示し、c) の da".....前から(今ま  
 で)"は過去に始まった事柄が現在もなお継続  
 中であることを示します。いずれも過去時制  
 を用いているこの文中で用いるには不適切で  
 す。したがって、".....の間"という期間を示す  
 d) の per が適切です。

### ●事務局よりホームページ活用のごお願い [www.iken.gr.jp](http://www.iken.gr.jp)

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もeラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニプリントで過去問も配布しています。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご活用いただければ幸いです。ご要望や受験・お仕事体験談等、メール (info@iken.gr.jp) でお寄せください。Le Ali と HP に掲載させていただいた分には薄謝を差し上げております。

新型コロナウイルスによる世界的な感染では、イタリアも北部を中心に多くの死者を出しました。イタリア語検定協会は、亡くなられた方々とそのご家族に心よりお悔やみ申し上げます。

### <2020年度の試験日程ご案内(予定)>

◆ 第51回 2020年10月4日(日) ◆ 第52回 2021年3月7日(日)

### 『使えるイタリア語単語 3700』



ジャンル別に分類され、各単語には、フレーズが掲載され、検定の該当級も明記。準2級レベルまでの検定対策として最適の一冊に仕上がっています!  
 (検定協会事務局スタッフ執筆)  
 [MP3 CD-ROM 付]  
 定価(本体2,800円+税)  
 発行・発売 ベレ出版  
 佐藤 徳和、北野 美絵子 ジュリア (著)  
 \*電子書籍版も発売中です。

### 『イタリア語 基本単語 使い分けブック』



豊富なイメージイラストと例文で、基本単語の使い分けを詳細に解説。辞書や従来の参考書では分からなかった微妙なニュアンスの違いもこの本で理解することができます。検定対策としても活用をお勧めします。[音声DL付]  
 定価(本体2,700円+税)  
 発行・発売 ベレ出版  
 アンナ・エスポジト、武田 明子(著)